

意見案第1号

無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備促進を求める意見書

（原案可決）

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、通信環境の整備、とりわけ無料公衆無線LAN（Wi-Fi）環境の整備は喫緊の課題となっています。

2014年度に観光庁が行った「平成26年度訪日外国人旅行者の国内における受入環境整備に関する現状調査結果」によると、旅行中最も困ったこととして、無料公衆無線LAN環境が30.2%と最も高く、特に公共施設や観光施設におけるWi-Fi環境の普及や利用手続きの簡便性の面での課題が指摘されています。

国は、防災の観点から、2020年までに約3万箇所のWi-Fi環境の整備を目指しており、また空港や駅・鉄道、宿泊施設など人が多く出入りする場所には、民間での設置を働きかけています。

Wi-Fi環境の整備促進は、インバウンドのさらなる増加だけでなく、防災拠点となる公共施設等の災害時における通信手段の確保にも大きく貢献することから、以下の項目について強く要望します。

記

1. 鉄道・バス等の公共交通機関やホテル・旅館等の宿泊施設などの民間施設に対するWi-Fi整備支援事業を一層拡充すること。
2. 日本遺産・国立公園等の観光拠点や観光案内所におけるWi-Fi環境の整備を一層促進し、観光地の機能向上や利便性向上を図ること。
3. 防災の観点から、避難所・避難場所の学校、市民センター、公民館等の防災拠点や、博物館・自然公園等の被災場所として想定される公的拠点へのWi-Fi環境の整備を行う地方公共団体に対して、財政的支援措置を導入すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出します。

平成29年 3月 24日

北海道恵庭市議会

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、国土交通大臣 宛各通

決議案第1号

「COOL CHOICE」に賛同する決議について

(原案可決)

近年、わたしたちを取り巻く自然環境が大きく変化してきています。

これまでの経済活動により、日々の生活の利便性は向上しましたが、その一方で地球温暖化が原因とされる異常気象による自然災害がたびたび発生し、人の暮らしに大きな問題を引き起こしています。

このまま温室効果ガスの排出量が増え続ければ、長い時を経て育まれたえにわの豊かな自然環境が損なわれてしまうかもしれません。

わたしたちのまち、えにわの豊かな自然環境を未来の子どもたちに託すために、今行動を起こす必要があります。

そのためにわたしたちは、低炭素ライフスタイル・ワークスタイルへの転換に向けたあらゆる賢い選択「COOL CHOICE」に賛同することを決議します。